

学区住民の誰もが
共に安心して
暮らせる
生活環境作り



平成29年12月

第53号

編集発行
口田学区町内連合会
口田学区各種団体

口田学区町内連合会

口田小学習発表会 夢を語る児童らに 感動の拍手

口田小児童による恒例の学習発表会が11月11日に同小体育館で開催され、学年ごとの趣向を凝らした児童たちの取り組みに、参観に訪れた保護者らは感動の拍手を送っていました。

この学習発表会は一、三、五年生が前半、二、四、六年生が後半の組に分かれて、決められたテーマに沿って児童たちが発表し合うものです。学習発表会前、後半の教室居残り組は「道徳」の授業参観が行われました。

体育館であった学習発表会のトップは一年生です。「くじらぐも」の合唱を休いっばい動かしながら歌いあげました。三年生は「パワフル音楽隊」と題して全員がリコーダー演奏です。



「くじらぐも」の合唱を元気に歌う一年生児童ら

五年生は「ゼロ弾きのゴーシュ」(宮沢賢治作)を取り上げ、下手なチェロ弾きゴーシュと動物たちの楽しい会話を紹介しました。

後半は二年生の「ときめきコンサート」と題して合唱と全身を使ったリズムを披露。四年生は「二分の一人式」。これまでの10年間を回想して、児童一人ひとりが「感謝」を語りました。最後、六年生の題は「思いをつなぐ」。歴史上の人物の似顔絵を掲げながら、寸劇を披露しました。

この発表会の最大の特徴は「言葉つなぎ」というリレー方式や単独などで児童一人ひとりが発表し合うものです。なかでも、四年生が発表した「二分の一人式」では、児童が両親や家族に向けて「感謝」の言葉を読み上げると、会場を埋めた保護者のなかにはハンカチを目に当てる姿も見られ、大きな拍手が送られました。その他、学年ごとに工夫して「皆の心を一つに」「困難にたちむかう」「皆で力を合わせて」「夢の実現」など発表。児童らはきはぎした言葉は聞き入る保護者の感動を呼んでいました。

国史跡・中小田古墳群 防災対策で、官民の協力体制を確立

国史跡・中小田古墳群(安佐北区口田南)と境界を接する民有地背後の山林で、防災対策工事が本格化したのは平成19年でした。その前年に地元住民らが「中小田古墳群防災対策協議会」(中光哲三会長)を設立し、同協議会が独自調査した12か所の危険箇所を指摘した陳情書を広島市に提出。一年の話し合いを経て工事着手に至る素早い対応でした。

官民挙げてのこうした動きは、同古墳群が国史跡の指定(平成8年)を受けて10年を迎えたこと。さらに、国史跡の指定に伴って進められていた「境界線確認」のための用地買収が平成

17年度で完了したことが、工事着手へ大きな弾みとなったことでした。

同古墳群と民有地が境界を接する距離は延長約500m。隣接民家は30戸に及びます。同協議会の現地調査も半年を要し徹底したものでした。当時、調査に参加した同協議会事務局の福岡健さん(七七)は「倒木、雑木などで荒れ果てた山林の調査は大変だった。この調査の重要なことは危険箇所の現場を写真などに収録し、しかも私たち地元が工事の優先順位を決めたこと」と、振り返っておられます。

平成20年からは毎年同協議会と市が定期的に話し合いを進めています。おおむね、同会の優先順位で防災工事が進捗していきました。今年度も森脇工務店裏(延長約60m)が施工されます。来年度に残る一区画の工事を終えれば、同防災対策協議会設立から足掛け14年を要した工事は完了することになります。

◇◇◇◇◇
中小田古墳群は4世紀後半の古墳16基からなっています。昭和54年広島大学の発掘調査で、一号墳墓(前方後円墳)から、三角縁神獣鏡など多くの遺物が発見されました。三角縁神獣鏡は中国の「魏志倭人伝」の中に、「魏の皇帝が倭の女王卑弥呼に銅鏡百枚を与えた」という記述があり、この銅鏡と同じものだったことから考古学の注目を集めました。中小田古墳群の保存については検討されていますが、どのように保存するのかまだ定まっていません。

口田学区自主防災訓練

来年1月28日に開催

恒例の学区自主防災訓練は来年1月28日(日)、これまでの口田小から老人ホーム「くちた園」(口田南二丁目)へ移して開催されます。内容は机上訓練などが予定されています。

青少年健全育成連絡協議会

高陽公民館で11月19日、第31回高陽地区青少年健全育成意見発表大会が開催されました。管内の小、中学校から選ばれた児童、生徒26人が発表しました。口田小からは6年生の登田聡生さんが「苦しむ動物見捨てる人間」、同島田歩望さんが「あきらめずに」と題して、堂々と熱く発表されました。

二人とも学校や地域の行事などに参加した様子を素直な気持ちで表現している点に触れ、「明るく元気に積極的な活動をしている」と担任の先生方は嬉しそうに話されました。



意見発表大会

児童館祭りに参加して

11月12日に「不思議発見in口田」をテーマに児童館祭りが開催されました。会場には300人余の児童らが集まりました。

不思議体験（絵柄を見つめると錯覚現象が起きる）コーナーや遊びコーナー（くじ引き、空気砲、マジックスクリーンづくり）、それに「おやじの会」の餅つきコーナーで、餅を丸める体験をするなどさまざまです。

青少年協はパットパットゴルフや輪投げ、ストローを利用した浮き球ストロー、ストロー笛づくりを担当しました。各コーナーとも順番待ちが出るほどの人気で、児童らは大いに楽しみながら、ものづくりや遊びに夢中になっていました。（伊藤）

体育協会

体協運営の協力に感謝

町民の皆様には体協運営、活動に多大なご協力をいただきありがとうございます。地域の活性化を目指し皆様に愛される体協であり続けるよう役員一同頑張っています。

また、町民運動会や各種スポーツ大会にご参加、応援下さいました町民皆様と選手、体協役員の皆さんに心より感謝申し上げます。（村井）

学区行事の結果報告

- ◎第37回ソフトテニス大会（7月23日）優勝 小田・弘住▽2位 上矢口▽3位 上小田西
- ◎第36回男子ソフトバレーボール大会（7月30日）優勝ふじランド▽2位 上矢口▽3位 上小田西

- ◎第22回ソフトバレーボール大会（8月27日）優勝 上小田西▽2位 上矢口▽3位 ふじランド
 - ◎第43回町民運動会（10月9日）優勝 5ブロック（上小田西・弘住・宮ノの岸・下矢口）▽2位 3ブロック（ふじランド）▽3位 4ブロック（上小田東・上小田南・上小田）
 - ◎第37回ミニサッカー大会 12月3日 口田小グラウンド
 - ◎第16回親善ゴルフ大会 12月9日 太田川ゴルフ場
- お知らせ
第7回ペタンク大会は今年度中の開催を予定しています。

後期学区内行事

公衆衛生推進協議会

ごみ処理施設などを見学

公衛協の推進委員ら36人は10月25日、中区のリサイクルプラ処理施設と同区の「広島県赤十字血液センター」の二か所を見学しました。

午前中のリサイクルプラ処理施設は民間3社の出資で設立されています。全市域の一般家庭から出るペットボトルやプラスチック容器をリサイクルし、再び商品化するもので、選別、圧縮、梱包など一貫作業を行っています。処理を終えたプラスチックは再商品化する事業者に引き渡されます。

映像など駆使した作業行程全体の説明を聞いた後、作業ヤードを見学しました。搬入されたプラスチックは作業員の手で異物が入っていないかなど混入選別は大変な作業です。この作業に多くの労力と時間を要しているのです。異物の混入や、リサイクルプラとその他プラを一緒にした出し方は作業現場の混雑さを招くことがよくわかりました。

午後は血液センターを見学しました。同センターには中四国9県で採血された全ての血液が搬入されており、検査後、製剤、保管されます。そして必要に応じて9県へ供給されていくのです。

進んだ科学をもってしても血液は人工的に作ることはできません。見学を通し献血に頼るしかないことを痛感しました。今後も皆さんの献血にご協力をお願いします。（栗木）

防犯組合

減らそう犯罪

今年もあとわずかとなりました。口田学区町内会の皆様には日頃からご協力をいただきありがとうございます。防犯組合連合会の活動も益踊り大会、青少年柔剣道大会などの会場の見回りと警備にあたるなどして交通安全週間のチラシ配布などを行いました。今後とも地域の防犯活動に鋭意努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

広島県の犯罪

広島県では「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動が着実に成果をあげており、前年同期に比べ144件（1.8%）減少しています。しかし、

特殊詐欺の件数、金額が倍増するなどまだまだ活動を強化する必要がありますと痛感しています。

身近な犯罪では自転車盗難、車上狙い、器物損壊が多数を占めています。自転車盗難被害を予防するためには防犯登録とツーロック施錠で対処しましょう。

その他、有料サイト利用料を電子マネーで支払いを要求する詐欺が多発し、若年層の被害が急増しています。「料金が未払いだ」、「連絡なければ法手続きする」などと、画面表示やメールが届きます。電話すると電子マネーを購入させ、利用料を騙し取るのです。身に覚えのない請求は無視して身近な人や警察に相談しましょう。（垣内）

子ども会育成協議会

奉仕とバザー

9月3日早朝に口田小グラウンドの清掃を行いました。参加したのは先生方や保護者、体協の皆さん、スポーツクラブの子ども達です。側溝の泥あげや花壇植込みの除草などに汗を流しました。きれいになったグラウンドで子ども達が元気いっぱい走り回る姿を思い描き、参加された皆さんに感謝いたします。

清掃後は体育館でバザーを開きました。今年も地域の皆さんから多くの出品をいただき、会場は大変賑わいました。収益金は子ども会活動に有効利用させていただきます。ご協力ありがとうございます。



3学区球技大会

3学区球技大会（スパードッジボール）が11月5日、落合小体育館で行われました。口田小は4年生から6年生の男女24人が参加し、熱戦を展開しました。

男子は陣を組み、女子は声を出し合うなど素晴らしいチームプレーを見せてくれました。子ども達の楽しそうな姿、真剣な顔、協力し合う姿を見ることができ、また、試合結果も昨年同様、男子は2位、女子は見事に優勝し、嬉しく感じました。この球技大会を通して6年生は他校の児童と積極的に交流を持つことができました。なかには来春の口田中で再会する児童らもあり、「再会を果たして試合の話に花咲かせたらいいな」と思いました。（機会）

女性会

西川ヘレン氏の講演を聞いて

市女連大会が10月18日にアステールプラザで開催され、西川ヘレン氏の講演「大家族支え愛・見守り愛・励まし愛」を聴きました。

昭和42年に西川きよし氏と結婚し、妻として、3人の子の母としてさらに同居する義父母、実母の世話など四役をこなしてこられました。近年は3人の介護を受け入れ、一気に責任が重くのしかかるなど、厳しい生活を余儀なくされる重苦しい日々でした。しかし、ヘレン氏夫妻は講演に掲げた「三愛」を分かち合いながら、愛情深く見送られました。私達も百歳時代に向け、他人事ではなく社会において「三愛」を実践しようと考えています。（中村）

元陽展で入賞

女性会の水彩画グループは元陽会の上野正嗣先生の指導を受けて日々勉強しています。その努力が実りこの度、元陽展において会員の中山美佐子さんが小作品部門の「奨励賞」に、同中平吉子さんが同「ターレスジャパン賞」を受賞されました。二人の作品は東京都立美術館で開催された元陽展会場に展示され、表彰を受けました。また、元陽展（11月28日～12月3日まで）は、広島県立美術館でも巡回展示されました。

紙門松を飾りましたよ

今年もわずかとなりました。紙門松を配布いたします。新年に飾っていただければ幸いです。（中平）

口田学区老人クラブ連合会

大人のかくれ家と老人会

「健康づくり」、「地域交流」という共通テーマ（ユートピア49号に引き続き）について、かくれ家倶楽部の事業から紹介します。会員は31人（うち女性は10人）。会員の平均年齢は74歳で、月2回いい汗を流して活動しています。

発足は平成18年。竹林で覆われた棚田を開墾し広場を整備しました。作業小屋、トイレ、ステージなど次々建設。最近ではかぶと虫小屋、ピザ窯を造り、遊歩道の整備も手掛けています。全会員はすこぶる元気で何より楽しんで作業しています。これら施設を利用したピザ焼き、かくれ家料理、炭焼き、中小田古墳群の探

訪など子どもから大人まで、地域の皆さんは喜んでくださいます。

また、主な地域交流の一つに子ども会の「プレーパーク」（子ども天国）があります。子ども同士がものづくりにかくれ家探検など通して遊び回ります。この遊びの輪には、親は口出しが出来ないルールになっています。

また、「森のコンサート」も開催し、地域の音楽グループらの発表の場としてステージ上で熱演し、地域との交流を深めています。この様に倶楽部は地域交流に老人会と同じテーマを実践し、セカンドライフを楽しむ、光輝、高齢者を目指しています。（小田長寿会会長 木戸敏明）

消防団

火災訓練と火災予防

9月9日に口田南の弘住神社で建物火災訓練を行いました。安佐北消防署高陽警防隊、同救急隊、消防団口田分団、地元自主防災会が参加。消火栓からホースを引いて放水する実地訓練など本番さながらの緊張感を持って訓練に当られました。

住宅火災の半数は高齢者によるもので、尊い命が失われています。主な火災の原因と対策を紹介します。◎「ストーブ火災」（ものが触れて火災になる）燃えやすいものを近くに置かない。給油は火を消してから行う。

◎「たばこ火災」（くすぶった後火災になる）寝たばこをしない。灰皿に吸い殻をためない。

◎「コンロ火災」（食用油は350度で自然発火する）離れる時は必ず消す。近くに燃えやすいものを置かない。

火災報知器の設置・点検

家庭用報知器設置義務（寝室・階段など）から10年を経て電池切れの時期です。ひもを引くとメッセージが流れ確認できます。未設置の方はホームセンターなどで購入をお願いします。

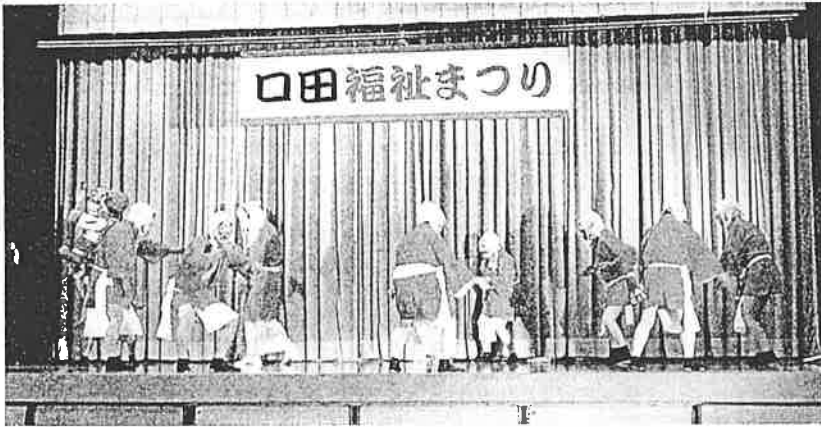
また、同火災警報器は寝室や階段以外の居間や台所など火災の起こりやすい場所への設置をお勧めいたします。（濱田）

社会福祉協議会

盛況に終わった福祉祭り

口田福祉まつりが10月28日に口田小体育館を中心に開催され、雨天にもかかわらず、会場は多くの人で賑わいました。

今年も上矢口郷土芸能保存会の和太鼓クラブ「翔」の元気な演奏で開幕しました。式典に続いて、口田保育園児の「うたとおどり」、口田児童館の子ども達が舞踊などを披露しました。子どもらの合唱や演技の懸命な姿に会場は温かいまなざしと大きな拍手で包まれました。



ユーモアあふれる踊りを披露する「可部ひよっとこ踊り」の皆さん

例年、午前の部は子ども達が出演し、午後の部から大人の登場です。今年は出演団体が減り、18演目、出演者数は過去最少の247人でした。しかし、出演者はステータジいっぱい、日頃の練習成果を精いっぱい披露してくれました。

今年は「可部ひよっとこ踊り」の皆さんのサプライズ出演があり、ユーモアのある踊りに笑いと大きな拍手が起こりました。また、図書室に設置された在宅介護機器の展示や体験コーナーや健康相談、マッサージ体験など年々工夫を凝らして中身を充実させています。

隣の遊びコーナーでは民児協の皆さんが「バルーンアート」を運営し、多くの子ども達が夢中で遊んでいました。まつりを盛り上げるテントブースのほか、家庭科教室を食事会場に開放。例年好評の天ぷらうどん、ぜんざい、ポップコーン、コーヒール、綿菓子など買い求める家族連れで大変賑わいました。

また、今回は16人の中学生がボランティアで参加しました。まつりの最後にはビンゴゲームを行い、会場はとて盛りのあがりでした。福祉事業は地域の皆様方の温かいご支援とご協力のうえに成り立っています。衷心より感謝申し上げます。

(伊藤)

社会福祉貢献で表彰

安佐北区総合福祉センターで11月21日、第38回安佐北区社会福祉大会が開催されました。式典の中で安佐北区社会福祉協議会会長表彰が行われ、口田地区から3人の方が9年以上の福祉活動に携わられた功労者

として表彰を受けられました。受賞されたのは社協理事や福祉リーダーを務めておられる木戸雅一、岩佐節子、田宮節子氏の3氏です。

また、11月29日には、広島市総合福祉センターで広島市社会福祉大会が開催され、10年以上活動されておられる功労者の方の会長表彰がありました。受賞者は理事の木戸敏明、越智兼光、森重シゲノ氏の3氏です。表彰されました皆様おめでとうございます。今後とも地域の福祉向上のため活動よろしくお願いいたします。

福祉バザーは2月4日開催

口田地区社会福祉協議会が主催する恒例の「福祉バザー」は来年2月4日に口田小体育館で開催します。

このバザーは地域の皆様から寄せられる善意の品々を販売し、売り上げの収益金を福祉活動事業に活用させていただくのが大きな目的です。

地域の皆様には趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願いいたします。各町内会の役員、福祉リーダーさんが提供品のお願いと収集に伺います。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年のいきいきサロン終了

地域別に開催してきた「いきいきサロン」は11月8日、矢口地域（中矢口、下矢口、沖矢口）を対象に、口田集会所で開催され、賑やかな集いとなりました。地域別の「いきいきサロン」は今回を最後に今年の全日程を終了しました。

配食サービスといきいきサロン



今年度の「いきいきサロン」は5月の梅園地区から始まり、ふじランド町内会、上矢口町内会、小田地域、矢口地域を合わせた参加者は277人。それに「このぼり会」の31人を加えると総勢301人へのぼり、大いに地域交流が深められたと思います。各地域のサロンではお世話をお願いいただいた町内会役員、福祉リーダーの皆さんありがとうございました。12月12日(火)は口田保育園児との「クリスマス会」と来春2月23日(金)は「おひなまつり会」があります。是非ご参加ください。お待ちしております。毎月2回の「配食サービス」、後半のスケジュールは次表の通りです。

月	第1回目	第2回目
12月	クリスマス会	26日(火)
1月	お正月休み	23日(火)
2月	13日(火)	ひなまつり会
3月	13日(火)	27日(火)
4月	10日(火)	24日(火)

※12月12日(火)クリスマス会、口田保育園児との交流
※2月23日(金)ひなまつり会、口田保育園児との交流

愛の灯 善意募金

★この募金は、口田地区の福祉活動に活用させていただきます。
★香典返し、見舞返し等の虚礼を廃止し、社会福祉のために、あなたの善意をお寄せ下さい。

社会福祉協議会会長 伊藤 昭善
●募金振込先
JA広島口田支店 口座番号0296920
口田郵便局 口座番号15190-31497851